

## 目的

県内の魚類養殖では、高水温化に伴う魚病被害の増加、飼料等の価格高騰による飼育コストの増大、空き漁場の不足(養殖規模が拡大できない)が大きな問題となっている。これらの問題を解決するための「シン層飼育」※の効果の実証に取り組み、持続可能な魚類養殖を実現する。

※「シン層飼育」は、深い水深層、新しい水深層での飼育、という意味の造語

## 必要性

養殖経営の悪化要因:

- 高水温化に伴う魚病被害の増加
- 飼育コストの増大
- 空き漁場の不足



魚病対策、生産コストの削減、漁場開拓が必要

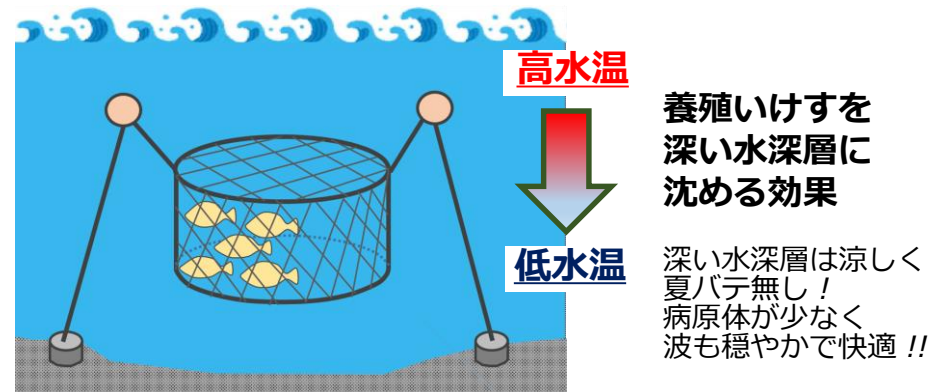
## シン層飼育に期待される効果

高水温の影響の回避、高成長による飼育コストの削減、波浪の影響の低減による漁場開拓

## 事業の内容

「シン層飼育」の県内での普及に向け、県内モデル地区において浮沈式いけすを導入し、飼育試験に取り組み、「シン層飼育」の効果を実証する。

**効果** シン層飼育の普及、持続可能な魚類養殖の実現、後継者の確保、地域経済の活性化



「シン層飼育」の浮沈式イケス